



こんにちは！高齢サポート・大原です。

発行日 2019年 5月発行 京都市大原地域包括支援センター

〒601 - 1245 京都市左京区大原戸寺町380

TEL : 075-744-4055 FAX : 075-744-3162

2019年
春号

目に鮮やかな緑がまぶしい季節となりました。

皆様いかがお過ごしでしょうか。

大原地域包括支援センターは

- ①防災・災害についての取り組み
- ②認知症・SOSネットワークに関する取り組み
- ③個別ケースの検討（深めて広げる）

3つの柱を中心に地域支援事業・個別支援を実施します。

本年度もスタッフ一同精一杯努めさせていただきます。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

センター長 津守志乃

DIG訓練 ～災害に備えて～

2月15日 八瀬・大原DIG訓練を行いました

DIGは直訳すると「災害想像力ゲーム」となり、参加者が身近な文房具を使い、地図や見取り図などに災害時の危険な場所や避難場所、避難経路を直接書き込み「見える」ようにする頭の防災訓練とされている手法です。

今回は参加者の皆様には色鉛筆を使って、一人暮らし高齢者の自宅や川、土砂崩れの危険がある箇所や避難場所などを実際に書き込んで頂きました。訓練が進むにつれ「ここはこの間の台風で崩れた」「過去に水に浸かった事がある」「花折断層を書き込もう」など様々な意見が飛び交っていました。

災害時は誰もが被災者となり、互いに助け合う必要が出ると考えています。その中で事前に地域関係者が共同で災害支援マップなどを作成しながら地域を再認識する事が地域づくりの一歩ではないでしょうか。



久多スノーバスターズ

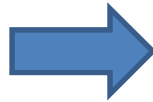
2月3日 快晴の中 今回も久多地域まで雪かきに行ってきました

救援ボランティア左京の藤田宗先生を中心に地域関係者や社協、医療保険・介護保険関係者など総勢約50名が早朝から集合しました。市内はほとんど雪が無い状況でしたが、久多に近づく程にちらほらと雪が見られ始め、いきいきセンターに到着した時には辺りは真っ白な景色になっていました。

到着後は各班に分かれ担当箇所でも雪かきを実施。日頃の運動不足と、普段使わない筋肉を酷使した為に筋肉痛に襲われますが、汗をかいた後は炊出し班さんが作ってくれたお昼を頂きました。



BEFORE



AFTER

雪が室外機を覆い、
窓が開けられない状態です

私たちが大原地域包括支援センターの職員です



津守志乃

日曜日の午後は一週間分の食事をあれこれ作って楽しくつまみ食いしています。



塚田 聡

家内の実家のコメ作りに本格参戦の予定！野良仕事でお腹の肉も落とし、今年は二兎を追います！



新井哲男

夏に向けて娘と一緒に家庭菜園の準備を始めました！今年はナスときゅうりです。歯が折れてもナスなら食べられるかなあ？



今村実千栄

歯が折れました！！皆さん固い物には気を付けましょう。



成毛聖子

ストレス発散法は、よく食べ、よく眠る、大きな声を出し息子の野球の応援する事です♪



大仲晴美

カフェでコーヒーを飲みながら本を読む時間が至福のひと時です。



谷 祝子

平成30年10月に着任した、谷祝子（のりこ）です。毎日慣れないことの連続で、奮闘中です。焼肉でパワーをつけて元気に頑張ります！！

編集後記

桜の季節が通り過ぎ、近くに見える山々の緑がまぶしく感じる季節になりました。高野川の川辺は葉桜やもみじが青々と繁っています。秋の紅葉も綺麗ですが、青いもみじも劣らず綺麗な景色を見せてくれます。

お出かけの際は、青いもみじも探してみてくださいはどうか？

地域包括支援センター

